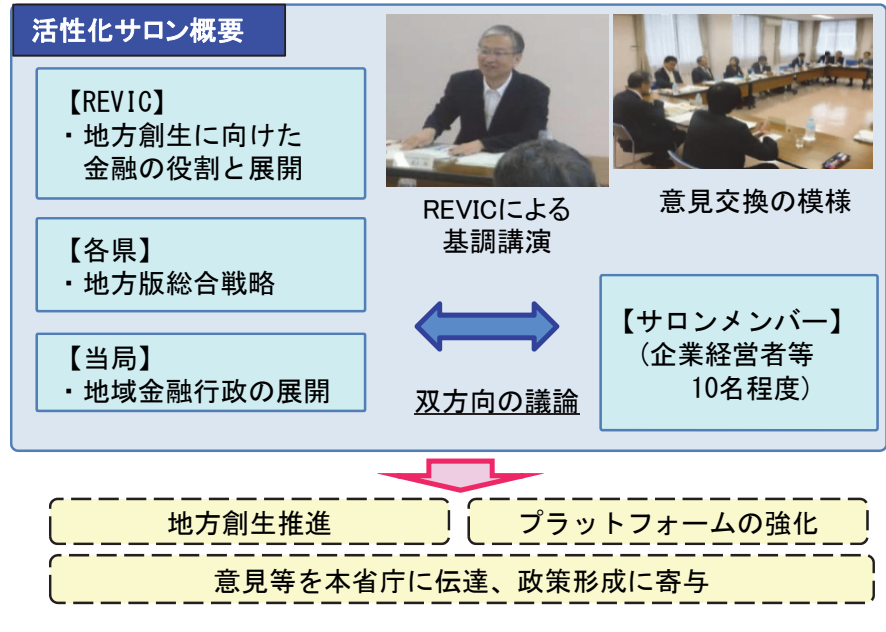


- ◆ 関東財務局で平成26年12月より開催している「さいたま活性化サロン」を管内財務事務所へ横展開(27事務年度(27年7月～28年6月)新規施策)。
- ◆ 「事務所版活性化サロン」では、各地域の企業経営者等をサロンメンバーとして、講演者及び各県の担当者との自由闊達な意見交換を実施。
- ◆ 各地域における地方創生に向けた意識向上や取組への支援に資するよう、第1弾の統一テーマを「地方創生に向けた金融の役割と展開」とし、REVIC(地域活性化支援機構)より講師を招いて管内8事務所で開催(27年10月～28年1月)。第2弾の統一テーマを「地方創生の産業振興の展開」とし、各県より講師として産業振興担当者を招いて28年4～5月に開催予定。

1. 成果事例の概要等

- 関東財務局では、地域のオピニオン・リーダーである企業経営者等との自由闊達な情報・意見交換を行う場として、平成26年12月より当局において「さいたま活性化サロン」を開催(27年度も継続。前頁掲載)。
  - 当取組は、企業経営者等との関係強化が図られ、各地域におけるプラットフォームづくりに有益な取組であることから、当局では27事務年度(27年7月～28年6月)、管内財務事務所に横展開を企図。
  - 「事務所版活性化サロン」では、各地域の企業経営者等をサロンメンバーとして、講演者及び各県の担当者との自由闊達な意見交換を実施。
- ※ 東京以外の財務事務所では、業務の効率的運営のため、統一テーマを設け、キャラバン方式にて順次開催(「東京活性化サロン」は次頁で紹介)。



2. これまでの取組の成果等

- 各地域における地方創生に向けた意識向上や取組への支援に資するよう、第1弾の統一テーマを「地方創生に向けた金融の役割と展開」として、REVIC等との協力のもと、開催(27年10月～28年1月)。

【27事務年度の開催実績】

- 27年10月16日 千葉活性化サロン(千葉)
- 10月21日 新潟活性化サロン(新潟)
- 11月 4日 群馬活性化サロン(前橋)
- 11月12日 茨城活性化サロン(水戸)
- 11月18日 栃木活性化サロン(宇都宮)
- 11月25日 山梨活性化サロン(甲府)
- 12月 3日 神奈川活性化サロン(横浜)
- 28年 1月19日 長野活性化サロン(長野)

メンバーからのご意見等

- **地方創生について**
  - ・総合戦略は、国と同じものとせず特色を活かした政策を打つべき。
  - ・総合戦略は、どう実行していくかが問題。
  - ・町おこしのリーダーとなるような人材の育成が必要。



- **地域金融機関について**
  - ・地域金融機関は融資に際し担保を求めると旧態依然である。
  - ・地域金融機関が県外企業との仲介役を果たせれば、ビジネスの可能性が広がる。

3. 今後の課題と関東財務局及び管内財務事務所の対応

＜今後の課題＞

- より活発な意見交換が行われるようなテーマを適切に設定。「事務所版活性化サロン」の定着と更なる発展。

＜今後の関東財務局及び管内財務事務所の対応＞

28年4～5月に「地方創生の産業振興の展開について」を統一テーマとした第2回を開催予定。各財務事務所のプラットフォームとして、関係強化を図っていく。